京城日報
夕刊
七月十四日(土)
京城府太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社

宮內省御用達 祐 キッコーウ

國軍五、六十師中央に直屬せしむ
總司令を廢し委員制となす
裁兵具體案成る

【北京十三日發電】蔣、馮、閻、李四總司令及び海軍總司令楊樹莊氏等は去る六日以來數回にわたる協議の結果、十二日午後三時大要左の如き裁兵具體案を作製し第五次中央執行委員會全體大會に提出することとなつた

第一條 國民革命軍總司令、各集團軍總司令、參謀總長、參謀次長、海軍總司令を以つてヘンケン委員を組織し、前記總司令その他名稱は全部取消す、ヘンケン組織終了までは現在の總司令が責任を負つて軍務を辨理す

第二條 第一、二、三、四各集團軍及び後方各軍は先づ戰功ありしもの及び規律あるものゝ中から撰擇してヘンケン委員會を組織し五十師乃至六十師に縮少して中央に直屬せしむ、尚ほ全國軍隊の兵軍は國防會議に依りこれを定む

第三條 全國軍隊は師團を以つて最大單位とし軍隊の整理編成はヘンケン委員會より命令をもつてこれを行ふ

第四條 編成せる下級幹部は期を分ちて中央軍事學校に派遣し成績優良なる者は教官として又政府より外國に留學せしむ

馮氏便衣隊の逮捕を命ず
國民軍に便衣隊はないと

【上海十三日發】上海公安局長戴石浮氏は本日馮玉祥氏よりの電命により最近上海に多數入込んだと傳へらるゝいはゆる國民軍便衣隊の搜査逮捕を命令した、馮の電報によれば彼は今日まで如何なる便衣隊をも組織したことなく又その組織を正式に認めたる覺えもなく若し國民軍の名を用ふるものあればこれは僞似ものなりゆえに逮捕處罰すべしといふにある

實行には成算がある
奉天派も三民主義にさへ服從すれば白日旗の揭揚は要せぬ
蔣介石氏語る

【北京十二日發電】蔣介石氏は十二日朝十一時西山碧雲寺にて記者團と會見し左の如く語つた

裁兵問題に關する閻、馮、李各總司令、海軍總司令楊樹莊氏等との會議は昨日ですつかり濟んで裁兵具體案を得た次第だ、同案は吾々が聯盟して第五次中央執行會議に提出することゝなつたが實行までには少くも一ケ月の準備を要する、しかしその實行には充分成算がある、先づ優良兵を存置し劣等兵は淘汰して徐々に歸鄉に就らせることゝなるから國民政府は東三省に對し武力を用いんとするものでなく、たゞ三民主義をもつて解決せんとするものである、奉天が三民主義に服從すると通電すればそれで解決がつくもので國民政府として奉天に對し白日旗の揭揚を強要するものではない、中國統一のため奉天も同じく三民主義を理解せんことを望むのみである

條約滿期後は新條約締結を交涉
矢田上海總領事と會見後
王正廷氏語る

【上海十四日發電】來滬中の王正廷氏は十三日午後九時南京に歸へることゝなつたので矢田總領事は個人の資格で王氏を訪問し日支條約改訂に關し意見を交換したが王氏は北伐軍凱旋祝賀の宴で記者を引見して左の如く語つた

矢田總領事から個人の資格で日支條約滿期の問題につき聞を受けたが、日支條約滿期の場合速かに新條約締結の手續に出るか何うかを聞かれたので自分としては外交の手續により矢田氏を介し日本政府に新條約締結交涉の通知を出すかも知れぬと答へて置いた、多分近日中に交涉の手續きを執ることになるだらう

而してその他具體的內容については巧に避けて明答を避け、最後に『駐佛支那公使陳籙氏に歸國を命じたがその後任は大使の資格で派遣すべく急速人選するはず』と語つた

佛國々祭日祝賀（佛領事館にて）

李濟琛氏
戴天仇氏と共に十三日入京

【北京十三日發】李濟琛氏及び戴天仇氏は十三日午後六時着京し白崇禧氏の司令部に入つた

楊宇霆氏
十三日歸奉

【奉天十三日發電】楊宇霆氏は今朝八時歸奉、大東門外小河沿の私邸に入り、正午大帥府に張學良氏を訪問、重要協議をなした

既定經費を節約して新規財源に充てる
大藏省の方針決定

【東京電話】既定經費節約に關する大藏省議は十三日午後一時半から藏相官邸に開かれ主計局作製にかゝる節約案につき詳細說明をなすと同時に各省の新規事業費は二億八千萬圓に達し今後追加要求せらるべきものも相當多額ある旨を報告し協議の結果

一、既定經費節約は昭和三年度不成立豫算編成の時既に決定してゐるから四年度豫算編成の際も此の既定計畫によること

二、營業收益稅の代り財源は四年度から創設さるべき新稅收入四千萬圓を充て不足分二千萬圓は既定經費節約より生み出す

三、自然增收無く剩餘金も今日に於ては新規事業の財源は主として既定經費の節約に依ること

の方針を決定した

天引と事項別の折衷案で節約
基本額は物件費の七億圓

【東京電報】明年度新規要求財源としては主計局の一、天引主義節約二、各事項別節約の折衷案を得て來週の閣議に提出するはずであるが、節約の基本額は明年度の豫定物件費總額の內一、人件費に關する約三億六千萬圓を差引たる物件費約七億圓であつて、この內四、五千萬圓の節約を求めんとしてゐる

出先で任命
急ぎ歸る河原田氏
=新臺灣總務長官=
勞働會議の一齣を語つて

ジェネーヴに開かれた第十一回國際勞働會議に政府代表として出席中臺灣總務長官に任命された河原田稼吉氏は十四日午前九時五十分京城通過一路東京へと向つた、驛頭には生田、渡邊、草間、園田の本府局部長その他の送迎あり、車中出迎へた記者に對し次の如く語る

六月廿二日召電に接し二日ベルリンから直行してゐるのだが、東京には十六日の朝着く豫定で、廿四、五日頃までには臺灣に赴任する積りである

國際勞働會議

國際勞働會議に於ける問題中重なるものは

一、最低賃銀決定機關設定に關する條約案
二、工場の災害防止に關する條約案

の二項で、前者に對しては其の趣旨には贊成であるが我國情として今直ちに同意し能はざる事情を述べ贊否の意見を保留した後者は我國に於ても何ら同意できないが本案は來年の會議で決定する筈である

豫備役編入
山下百武兩大將

【東京電報】軍事參議官山下源太郎大將は七月三十日が停年滿期となり豫備に編入される事となり、待命中の百武三郎大將も同時に豫備役となるはず、

府廳職員 財務研究會

京城仁川兩府廳職員からなる第二回財務研究會を十五日午前八時から仁川公會堂で開催、京城府から庶務課長外六十六名出席、午前中は仁川府廳の財務事務を視察し午後より研究會に移つ、京城府廳者は午後五時歸城の豫定

本年の旱害は大正十三年よりひどい
―本府はその對策に腐心

京畿、黃海、慶北、全北の諸道における本年の旱害は全く言語に絶し、その他の諸道は旱害といふ程でもないので水稻の總植付面積は七月十日現在で昨年の七割六分に達してゐる、しかし旱魃で大騷した大正十三年においては七月十日現在の植付面積は前年の總面積に比し八割四分で

本年

は大正十三年度より更に八分の不良で、如何に旱害地が部分的に不良であるかゞ判る、大正十三年においては旱害による植付遲延のため前年より二百萬石の減收を見たので十三年より植付成績の惡い本年は到底減收は免れぬものとされてゐる、殊に昨年の米作は近年にない千七百萬石といふ大豐收を呈したので、本年はこれに比すると著しい大減少を呈するのではないかといはれてゐる、

大正十三年の旱魃は主として慶北地方で七月十日現在の水稻植付成績中不良の所は全北五割八五慶北六割八五、全南六割九六であつたが、本年は京畿五割一五、黃海四割七二、慶北六割三三、全北六割九一は不良の方で十三年當時に比して劣る

不良

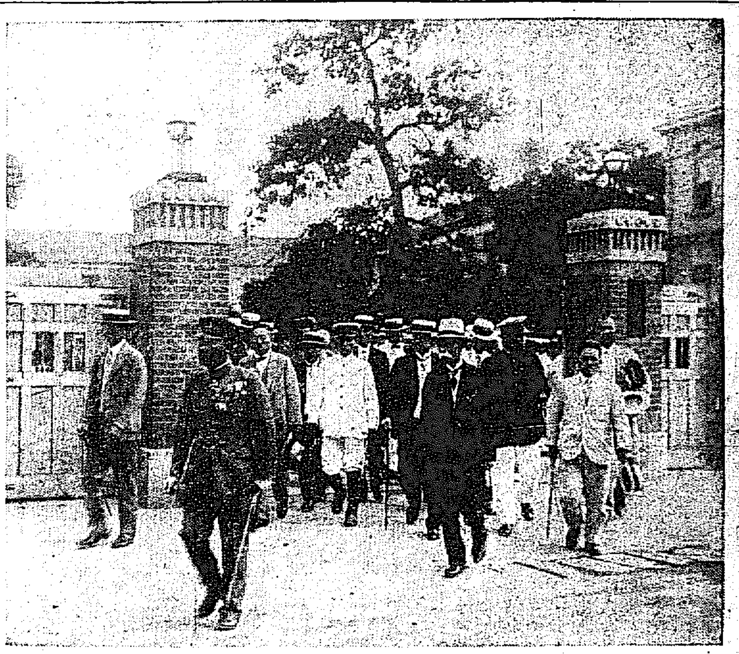
である、これ等のケ所に對する善後策については殖產局農務課において考究中であつたが、十四日は第二會議室で關係者全部集合協議し旱害對策具體案を作成、これを旱害諸道に配布することになつた

關係農務課長を招き本府の對策協議
決定した對策具體案は十六日發表の筈

十四日午前中總督府にて開催した旱魃對策協議會には水稻植付成績の不良な京畿、忠南、慶北、全北の各道農務課長、三井、尾崎、山本の各農務課技師列席し、左記事項につき協議を遂げ、對策具體案を作成した、なほ對策具體案は十六日發表のはず

對應策打合事項

一、旱魃の程度
二、旱魃に對し道の今まで講じ來りたる實狀
三、本府に旱魃對應策に依る打合
四、低資に依る肥料施設狀況
五、植付未濟地に對し充て居る肥料其の他の對策



慶北道廳を訪ふた山梨總督

李王兩殿下
湯ケ原御成

【東京電報】李王同妃兩殿下には御避暑の爲め同伴十四日午後一時東京驛發湯ケ原に向はせられた

御用邸內に
內閣出張所設置

【東京電報】天皇陛下葉山御用邸に御避暑中內閣は御用邸內に出張所を設置し總理秘書官、內閣書記官が十日間交代で事務をとることゝなつた

總督
夫人も共に十五日夕着城

東京より歸任の途慶北巡視中の山梨總督は十五日午後七時四十分京城驛着列車で歸城することになつてゐる、なほ總督夫人は白二郎、武四郎二令息同伴金泉驛で總督一行に加はり同車して入城することになつてゐる

首相と文相
園公を訪問

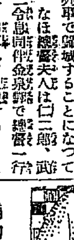
【東京電報】田中首相、勝田文相は十四日午前九時半東京驛發興津に向つたが十五日西園寺公を訪問するはず

辭令 【東京電報】

依願免本官 府郡守 金允玉

……人……

◇河原田稼吉氏（臺灣總務長官）十四日午前十時五十分着列車にて京城通過內地へ
◇黑板勝美氏（東大教授文學博士）十四日朝入城天眞樓へ
◇井上美成氏（帝國火藥重役）同上
◇野田努次郎氏（福岡縣生徒引率）十四日午後八時入城天眞樓へ
◇甲田正策氏（內鮮元山支店長）十四日朝入城笑福旅館へ
◇諏武男氏（忠南道警務課長）十三日夜入城平田旅館へ
◇澤田豐丈氏（東拓理事）十三日夜出城
◇吉田初三郎畫伯 豫て執筆中の金剛山鳥瞰圖完成につき十五日朝出城
◇藤尾直勝氏 十七日午後九時發大邱に赴任することになつた
◇富山縣藥學校職員生徒一行二十一名は十三日夜內地より入城大東旅館へ投宿
◇米國サンフランシスコ基督教青年會主催加州學生見學團一行二十五名は十四日午前九時十五分發列車にて奉天に向つた



捕物奇譚 紫頭巾（むらさきづきん）【廿六】
楠田敏郎作 小寺耕嶺畫

注意深い眼

『親分！』
『しつ！』
『親分！』
『叱つ！』
『ねえ……』
『馬鹿だなア手前は……』

さういひながら、人ごみにもまれてゐるのは、堅氣な商人風に化けた相模屋宗吉と、乾分の平次だつた。

『けねえ』

まだ平次が何かいひさうにするのを、宗吉は眼くばせで止めて、更に、人波を搔き分け始めた。

『やい、押すな』
『前がつけえてるんだぞ』
『痛い、誰だ、足を踏むなあ』
『急ぐ用なら、こんなところへ這入つて來るねえ』

宗吉の行くところ、もうそんなけんさうが起こるのである。

然し、宗吉は知らん顏して人ごみを拔けると、灯影も届かない塀の脇へ來た。

こゝは、江戶第一の盛り場、兩國である。暑さに、宿からは逃げつかれない人々が、涼みがてらに、まるで灯を慕ふ虫が何ぞのやうにして、ぞろ〳〵と、夜のはなやかさをなつかしがつて來る處に、涼みどころか、人いきれで、むせ返るほどである。

おまけに、軒をならべた見世物小屋からは客寄せのにぎやかな囃子が湧いて起こる。木戶番の呼び込む聲、賣藥の叫び、耳をろうするばかりだが、皆はもう、魂の拔けたものゝやうに、人波を打つてぞろ〳〵あるいてゐる。

油のにほひ、姊のにほひ、汗と人いきれで、宗吉は、胸が惡くなつてゐたのである。離れたところに立つと、涼しい川風が吹いて來て、生き返つた思ひがする。

胸をひろげて、その涼風をふところへ入れながら、宗吉は平次をにらんだ。

『手前くらゐ馬鹿はねえぜ』
『え、何、なぜだい、それより親分は……』
『しつ、すぐそれをいやがる。え平次、考へて物をいへ』
『だつて……』
『俺も手前も、つくりは堅氣の風態なんだぞ』
『あつ……』
『今になつて口を押へる奴があるか、馬鹿』
『だが、すこし變なものを見たから』
『え、何だつて』
『あすこに出てゐる易者よ』
『え、手前、それでも、あれに氣がついてゐるのか』
『當ねえことはいひこなしだ。俺あちやんとにらんだんだ』
『だから、何うにらんだのだといつてるんぢやねえか』
『ねえ親分、あの易者は、何しか前ねえのかえ』
『偉いな』
『初めてほめられた』
『嬉はな、俺もそれで、こちらへ出たんだ、あの易者め、どうして大膽な奴だ、八方へ眼を配つてゐる。そんなところで、手前におかしな事でもいはれたんぢや、一ぺんに感づかれてしまふ、俺あどれだけびく〳〵したかわからねえ』
『なる程』
『だがな、ちらと見た位のとでは手が出せねえだ、俺はこれから暫く邊見をしてゐる、そのあひだに手前は皆を集めて、易者の背後に忍べ、そして、俺が合圖をしたら一度に飛び出し叩き伏せるんだ』
『へえ』
『行つて見ろ、皆の奴が、橋の上へ來て涼んでゐるから』

あすの天氣（15）

豫報	曇驟雨
氣溫 十四日正午	二六・八（晴）
十三日最高	三〇・三（晴）

氣壓配置は雨季の狀態となつた本邦の高氣壓の尖端は半島の北部にまで突出してゐる全鮮一般に曇り昨日は所々に小雨あり中部以北西岸は今朝も雨が降つてゐる明日は晴曇不定で夕立の模樣である

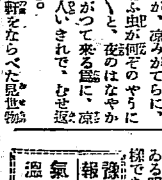
謝近火御見舞
昨夜近火の際は早速御馳付御見舞被下御芳情厚く御禮申上候混雜中御芳名御伺ひ洩も可有之不取敢以紙上御禮申述候
京城電氣株式會社 電車課

汶山通商合資會社
連絡開通廣告
高浪浦九化間 汶山積城方面行 貨物自動車 乘合自動車 發動船
風光明媚天與ノ仙境 盛暑ノ避暑地臨津江ノ斗浦ヲ紹介ス
白砂青松水清ク水泳。舟遊。釣魚。投網眞ニ盛夏ヲ忘ル
汶山驛ヨリ二十分高浪浦ヨリ三十分京城ヨリ日歸リ

溫泉と山へ
◇汽車賃金 旅館宿泊料 割引
鐵道局線及當社線主要驛より
信川溫泉行往復 汽車賃金 各等 二割引
汽車割引乘車券所持者に限り 八月三十一日まで
內鮮溫泉各旅館（大和屋旅館を除く） 宿泊料 一割引
當社營業線各驛より（鐵道局線指定驛よりも通帶乘車券發賣す） 長壽山行往復 汽車賃金 二割引
妙音寺境內に旅館營業開始 宿泊料一泊に付 二圓
朝鮮鐵道株式會社 京城黃金町二ノ一九五 電話（長）四三四五番

五千圓のひろひ物
勸業及復興債券で千圓以下の當籤金に[illegible]
日本債券月報社

日本卓上糊元祖
不易糊
新案特許の 不易水糊
最新式卓上水糊は本品なり
一、特許により液の多量流出の憂なし
一、商品の腐敗なく經濟的である
一、價格が低廉である
本品はノビよく香氣馥郁として固着力絶大なり
銀行、會社、學校等へ特に推奬いたします
（全國文具店、雜貨店、紙店にあり）
唐墨以上に書榮えする
不易墨汁
つや〳〵した墨色のあざ 事務用、習字用、廣告ビラ書き用 マーク揭用等には最適品であります
東京 不易糊工業株式會社 大阪



三倍はかどる
大鳴采印クサカベ式
模範製粉機
赤門の搗碓屋 日下部商店

危機一髪の間に 成功した救ひ出し
クラシン號の醫療室に 狂喜する兩少佐

【モスクワ十三日發】十二日勞農碎氷船クラシン號がイタリー隊遭難者、ザッピ、マリアノ兩氏を救出し次いでヴィグリエリ氏一行を救助したとは既報せると否とに拘らず救助の始き

歡喜を 起こさしめ同艦の乘組員に對する賞讃は一齊に湧き起こつてゐるがその後入手した報導によれば、これ等の救出は全く危機一髪の間に行はれてゐる、即ちザッピー、マリアノ兩氏のあつた氷塊は風に吹かれる度にグル〳〵廻つたり、破壊したりして、兩氏は何時溺死するか判らぬ運命にあり、あだかもクラシン號に救はれた際はその氷塊が僅か四八メートルとなつて漂流してゐた、かく風前の燈火の如き態から救はれた兩氏の狂喜は筆紙に盡くし難く、兩氏はクラシン號の醫務室内で嬉しさのあまり或は泣き或ひは笑つてゐる、一方ヴィグリエリ中佐の

一隊は 氷上に飛行機の破片を以てテントの支柱としてゐたがクラシン號を認めるや一行は早速火を用ひて信號をなしクラシン號はサイレンを吹き鳴らしてこれに答へ双方感激の裡に船は次第に捜査隊に近づいて ピタリ 氷塊に横づけとなつた、かくて中佐の一隊は傷つき病めるセチオニを助けつゝ救助船によぢのぼつたが一行が救助されると間もなく濃霧が襲來して咫尺をとざしてしまつたもしこの濃霧が今卅分早く襲來したならば、一行の救助がどれだけ遅延したかは想像出來ないものがある 又ザッピー マリアノ

兩氏の 一行の遭難者マルムグレン氏は死を傳へられてゐるが、死體は發見されてゐない、かつザッピー氏等の語るところではマルムグレン氏が重傷を負つて歩行し得ざることをさとるや氏等に對し『生存の途に向ふ際には余を見捨てよ』と悲壯な決意をとつて譲らず、兩氏も二晝夜氏を勵ますに努めた後、遂に氏の熱意を容れて別れた、又兩氏等も前進不能となつたものでマルムグレン氏の死も確かではないといつてゐる

クラシン號に 感謝の無電
ミラノ號から送る 勞農船更に活動

【モスクワ十三日發】勞農碎氷船クラシン號がヴィグリエリの一行およびザッピ、マリアノ等を救助した傳へに對しイタリー號母船チタ、ザ、ミラノ號はクラシン號に對し無電を以て

吾等は接吻を送る と感激極まる謝電を寄せた又ロシア駐劄イタリー大使も勞農政府に感謝の意を表したロシア側ではこの成功に非常に歡喜し總ての生存者全部を救助するまで飽まで努力を續けるといつてゐる

槿友會の 内輪揉め
一と騒動持ちよろう

朝鮮に於ける女性團體で朝鮮女性運動の急先鋒である槿友會では、先にその幹部の總會を禁止されたので、十四日午後七時、府内慶雲洞天道教紀念館でさらに臨時大會を開催するはずであるが、今や大會を前にして猛烈な内訌を生じ、收拾すべからざる狀態となつてゐる。その一は同會東京支會が、朝鮮女性運動を……態度を朝鮮本部に送附したのに對し本部の激昂を買ひ、若し東京支會にして新聞紙上に聲明文を掲載して誠意を披瀝しなければ該支會除名を命ずるとの緊急……と、も一つはこの臨時大會に送る本部支會代表の選擧方法が不正であつたに拘らず、本部においてこれを正式に認めたのは不都合であるといふ者と、本部支持者との睨み合ひで、目下東京、京都ほか内鮮卅ケ所の支會から代議員四十五名が入城しをり、どうせ一騒動うたねばやまぬ狀態にある

泊らせて 刺し殺す
死刑に不服で控訴

昨秋九月二十日頃趙炳然が二四の牛をひいてその賣却方を依頼したとを奇貨とし同人を出宿させ同夜カミソリを以て趙の咽喉首に一擲しに浴びせて即死せしめその後一週間程經て同じく同手段にて金興國を殺害せんと重傷を負はすに至つた永興郡德興面瀧磯里朱鍾呂は去月咸興地方法院において死刑の判決言渡されてゐたが十四日京城覆審法院に控訴するに及んだ

大邱の紳士 賭博の公判

【大邱發】六月三日起訴されて以來四十余日を未決拘留中の被告二十三名にかゝる大邱府の賭博事件第一回公判は十六日大邱地方法院金川裁判長係で開廷さるゝはずである。なほ略式命令によつて既決罰金處分に附せられる六名の言渡しも同日これを行ふはず

昌信洞の火事 八棟を全燒
損害凡そ二萬圓 消毒の殘火から

十三日午後十一時三十分頃府内昌信洞四三六番地消毒所親方鄭龍鎭小屋より發火し折柄の强風にあふられ、見る〳〵うちに延燒、附近の低くつ家屋に燃え移り、大火をおもはせたが消防夫の努力によりやうやく鎭火した、全燒合計三戸八棟でその損害は一萬八千七百五十圓である。原因は鄭の小屋の掃除に際し馬糞紙を燃やして一面に消毒を施したがそのまゝ殘火がなかにあるとは知らず屋炭と一處に自宅の小屋になげたによると目下東大門署で取調べ中である

蚊遣火から 發火す
全半燒八棟に及ぶ

【咸興特電】咸南永興邑内德里反物商高鎬賢方居ひ人韓正龍（二三）が十一日午後十時頃から十一時頃まで火鉢で蚊遣火を焚いたまゝオンドルの焚口に放置して居た爲火が同夜の〇時半頃近所の松葉に燃へ移り同家から隣家五戸七棟を全燒、一戸一棟を半燒して約二時間半の後鎭火したが燒失建物二百六十戸損害二萬一千六百余圓に達した

雪洲氏と劍道模範試合

【ロスアンゼルス十三日發】世界日曜學校大會に日本代表として渡米した九州醫院の志賀政弘氏は十三日劍道三段の早川雪洲氏と模範試合を行ひ内外人多數の觀衆はその妙技に醉はされた

召喚されて 縊死す
若者に重傷さした男

覆審法院として十三日京城地方法院において白判事の係で公判審廷の筈であつた京畿道抱川郡抱川面鄭里三六八番地李龍鳳は十三日同院白判事の召喚に應じて裁判所に行くと自宅を出たがそれつきり歸らぬので家人が不審に思ひ取しらべたところ、自宅附近において縊死を遂げてゐる事が判明した、因に李龍鳳は去る五月二十六日居村面長の指示で松野の松ケムシ驅除に從事中の鄭淳緒と共に歸途についてゐたもので同日午後二時頃同所路上において李の長男である李昌と鄭が些細な事から喧嘩、自分の長男が鄭のために毆打されているのを目撃し親の李鎭は激怒、鼎の頭部を强打、重傷を負はすに至つたもので、去る二十九日元山地方法院に起訴され九日白判事から公判の召喚狀を受けたがその日出頭せず遂に十三日裁判所に行くと言つて縊死を遂げたものである

講師及演題
一、智識階級の發展とその現狀
一、商業組織の推移と合理化運動
一、ファシズム批判
一、最須の發現に就て
一、我國教育界の新傾向
富島一夫 醍山茂 中畑四郎 丸谷教授 日野教授
神戸高商講演部 大講演會 入場無料 來聽歡迎
日時 七月十七日午後七時半
場所 京城日報社 來青閣
主催 凌霜會京城支部
後援 京城日報社

夏休みを利用して 短期大學や講習會
教職員の教養に資する 本府學務局の計畫

本府學務局では夏季休暇を利用し教職員の教養に資する各種の催しを計畫し、なほ夏季休暇後も引續き各種の講習會を開くことにしてゐるが本年中の計畫は左の通りである

金剛山夏季大學 七月二十二日より二十七日まで六日間大學主催の下に教育、心理、博物講義、講師大學教授

實業教育商業經濟講習會 七月二十三日より二十七日まで五日間高商主催の下に高商に於いて商業經濟講義、講師高商職員

濟州島夏季大學 七月二十五日から八月六日まで十三日間、教育會主催の下に歴史、地理、地質、動物、植物の現地講習、講師大學及所屬官署の職員

單級小學校教員講習會 教育會主催の下に八月三日から十二日まで十日間、講習科目單級教授法、純近教育思潮、講師京師訓導及教諭、場所京城師範

實業教育臨地講習會 八月五日から十九日まで十五日間教育會主催の下に京畿、忠南、全南、全北、平南、平北に於て各種の施設につき現地講習、講師本府視學官及技師

社會教育講習會 教育會主催の下に八月二十日から二十六日まで七日間朝鮮の風習、社會教育趨勢、青年指定につき田澤、福士、今村等の諸氏講義、場所未定

史實現地講習會 教育會主催の下に慶州に於て十月廿日から廿三日まで三日間慶州の史實講習、講師大學教授

教授法研究會 教育會主催の下に十月中旬に二日間理科に付き講習、場所、講師未定

小學校、普通學校女教員教習會 十月中旬より七日間教育會主催の下に國語算術、理科、家事、遊戲について講習、場所京城師範、講師京城師範訓導及教諭

吃音矯正講習會 十一月中旬より七日間京城に於て（場所未定）海州公普校長が一般に講習、教育會主催

府民も眞劍な 時間勵行會
會員は七百に上り 徽章も近く出來る

京城時間勵行會以來府民の時間に對する觀念は漸次その高潮に達し申込員數はすでに七百人を突破し徽章も作製中の會員章も二三日中には出來上るので、一般會員へ配布せられた曉は更に一段の眞劍さを加へゆく事であらう

白晝の捕物 トランク泥棒
出刃庖丁で抵抗 追跡して漸く逮捕

十三日午後三時四十分頃京城驛構内三等待合室において待合中の鐵道從業員東大門外里九〇六番地崔億（二）の所持にかゝるトランクが**何者**かに盗まれ構内は大騷ぎとなる折柄驛構内警戒中の伊藤巡査が擧動不審の者が構外に出でんとするを目撃し誰何するところにおいて逃走したので伊藤巡査は直に追跡し南大門通り五丁目六十九番地先まで追ひ迫つたが賊は附近の人家を通り抜け蓬萊町方面にむかつて逃走、捕縄を知つてかけつけた同所交番巡査中の高額、盧鍾昨巡査に應援を得、巡査本隊の賊人の追跡を托し、伊藤巡査は電車通りを黄金町方面に向つて追跡し黄金町一丁目七七番地先にさしかゝるや尾行追跡中の高瀬巡査と賊は同所において大格鬪中なるを發見し

應援 の結果遂に逮捕するに至つた、が賊は高瀬巡査に追跡されるや和泉町二一番地飲食店吉家に逃げ込み同家より出刃庖丁を持ち出し極力抵抗したるもの如く吉市頭部に負傷する等白晝騷ひの町を通して逃走犯人の追跡け多くの人目をひいた、賊は京畿道高陽郡延禧面阿峴北里柳基龍（二七）で本町署では目下嚴重取調べ中である

肺病 に悩みのお方 無代進呈
結核病の眞理と治療原則
本會は本年度諸被頒布したる、本社の一部サナトリアム療法の權威、サー・レーサム先生の小冊子であります。結核病は徒らに藥物や、療法に頼らず自然によつては治らない唯一の療法があることを明快に說いて居りますから至急のお方に、このハガキにて御申込を
相州小田原一四 自然療養社

鳥居博士十三日夜歸京

【東京電話】東部シベリア、滿蒙各地方の考古學的研究旅行を終へた鳥居龍藏博士と令嬢幸子（二）は十三日夜歸京した博士今回の研究旅行は可成りの收穫があつたと

早廻り機の東京入り

米國人ミ・ヤズおよびコリヤー兩氏の操縱する世界早廻りのニューヨーク號は十一日午前霞ヶ浦を發し途中大阪に着陸ガソリン補給の上午後四時五十一分同地を發し十一日夕無事所定の廻り十二日出帆の郵船に間に合ふやうに東京入りをした（寫眞は午後七時四十五分立川に着いたミヤース氏右コリヤー氏）

殖銀軍 と一戰を交ふる 南加大學チーム

先年明大野球隊チームが渡米し各地の大學チームと對戰した際、最も手强しく牛耳られたのは今回來城し殖銀軍と一戰を交ふる南加大學チームであつた、當時の明大野球部長内海月杖氏は渡米以後の戰跡中しば〳〵この南加チームの非凡なる技倆と技術とを賞讃して

怪投手トーマスの思出
明大の二出川選手の感想 南加チームの凄さ

ゐたが、當時の運動雜誌『スポーツマン』には親しく對戰した二出川選手の感想が掲載されてゐる、勿論今回來城する選手はその當時の選手ではあるまいが、同大學が如何に野球技に於て卓越した腕を持つて居るかゞ判る。左は二出川選手の感想記である

なかつた南加大學は全く意外の强敵であつた。その上投手は野球物と

背景と が余りに大いに失するのでかへつてガラッとてる試合ひのない事おびたゞしないステディアム中でのゲーム

學業を 總れば、直にロスアンゼルスの太平洋沿岸夕ーノに買はれて行くとの事、實ならから同軍の成功を祈ることや切のに寶ひ去らない感を敢づけられた名前だ。速球王トーマス。素晴らしいそのスピーデーな感力を持つた球の前には、私共は手も足もしばられたやうな感じがした。十點二で大敗北、得點二は敵のエラーによつたもので、中川君の安打一本でノーヒットを免れるトーマス投手は

三訓導溺死
池の中で遊泳中 死體はみんな發見

【大邱特電】慶州郡西面乾川公立普通學校訓導尹珊鐸（二）同訓導金東燮（二）および同僚黄隆衡（二）の三名は十三日午後六時頃同面乾川谷といふ池において水泳中溺死した、死體は十一時頃發見されたが原因は目下取調中であるが誰かが痙攣をおこして溺沒したのを助けんとした三名共この慘事を見たではないかと見られてゐる

五萬坪の 大公園新設
大阪の御大典記念事業計畫

【大阪電話】大阪では御大典記念事業として大阪城を大公園化する計畫が今回正式に許可を得御大典記念事業として更に現に淀川左岸にある一萬坪の櫻の宮公園を一千坪の大公園とし約二マイルの公園大道路を以つて連絡し總面積五萬坪の理想的大公園たらしめんとするにあり總豫算百五十萬圓の豫定で一般の寄附にまつはず

新車臺の六臺着く

京城府營バスが好成績なので、府は車輛増加をなす事となつてゐたが、内六臺は石川島造船所から大阪へ送り、十四日仁川へ陸あげされたが、仁川から汽車便で十五日京城へ送り近くこれを路線營業に使用する事となつた

龜屋の喫茶店 懸賞當選者

本町二丁目の龜屋では店内に清楚な感じの喫茶店を新築中で、近く開店の運びとなるがこの店名は廣く各方面から懸賞募集をなし、十三日本町署員其他立會の上で當選を決定したが、當選した店名は『龜屋喫茶部金剛山』で當選者は左の如くである

▲一等（各五圓）▲櫻井町三の一八九加藤彦一▲本町五ノ四七加谷喜代次▲本町二丁目町山島次郎▲二等卅名（省略）

無勝負に終る 法院對京日

本社對京城地方法院對抗庭球戰は十三日午後五時より京日本社コートに於て開始し兩軍技倆相伯仲、日沒の爲めドロンゲームとなつたメンバー左の通り

法院軍		京日軍
（第一ラウンド）		
朴（勝）韓（永）	二—三	久松 寺田
内田 渡邊	二—三	高（永）多田
加藤 元橋	三—〇	三浦 姜城
田中 赤尾	三—二	岸倉 齋藤
尹（新）渡部	一—三	西本 長間
西村 米路	二—三	柳井 金（長）
牛島 白石	三—〇	金（岡）佐藤
（第二ラウンド）		
加藤 元橋	三—一	久松 寺田
田中 赤尾	一—三	高（永）多田
牛島 白石	〇—三	西本 長間
加藤 元橋	三—〇	金（長）柳井
加藤 元橋	三—一	高（永）多田
加藤 元橋	〇—一	西本 長間

（日沒の爲め試合中止となつた）

デ選手勝つ

【ロンドン十三日發】デビスカップ歐洲ゾーン決勝戰はイタリーミラノに於いて行はれた第一日シングルでイタリー選手モルブルゴはチエッコスロヴァキア選手マセネウエルを左の如くストレートで破つた

デモルプルゴ	六—四 六—三 六—三	マセネウエル

金剛山軍勝つ

金剛山電氣對稻友倶樂部一部庭球戰は十日午前五時より金剛山休止里出張所コートに於て開始し兩軍奮戰の結果金剛山軍の勝に歸した

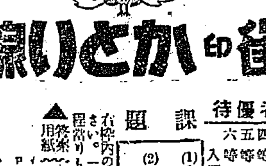
金剛山軍		稻友軍
（第一ラウンド）		
李、宵木	四—〇	田所、米倉
田中、鈴木	一—四	三上、齋藤
李、村上	〇—四	西本、長間
矢野、森	二—四	三上、田所
（第二ラウンド）		
李、宵木	四—三	三上、齋藤
李、宵木	四—二	西本、長間

あす（十五日）

◇若草町日基教會日曜說教十五日午前十時『完成者』吉川牧師同夜八時半傳說々教同師

◇京城組合基督教會（南米倉町）十五日午前十時半より長谷川町教會の說教あり（來會歡迎）

製造元 神奈川縣橘樹郡生田村高石 細王舍第一工場

第二回壹萬圓大懸賞


孔雀印かとり線香
愛用者優待
賞金壹萬六千圓
一等 金五圓也債券 一百名
二等 新案特許孔雀文化煙草容器（五十錢） 三千名
三等 特製新案煙草容器（三十錢） 五千名
四等 佛用線香孔雀香（二十錢） 一萬名
五等 同 安息香（十五錢） 二萬名
六等 官製ハガキ 胴索入（五枚） 拾萬名
入選者拾壹萬八千一百名
課題
(1)今年ノ孔雀ヘ 何ト〇クテ克ク〇クネ
(2)良クテ安クテ景品附ヨー 今年ノかとりハ〇〇ニ極メタ
右枠内の〇の所へ適當な文字を御書き入れ下さい。一人で何枚でも出せます一枚でも多い程當りも多くなります
▲用紙 孔雀印蚊取線香の紙袋の裏に左の順序で御書き下さい
▲締切 昭和三年七月卅一日
▲抽籤發表 同 八月廿日
和歌山市杉ノ馬場二丁目 日本除虫菊株式會社 懸賞係

中元 暑中の御贈答品は キリンビール
化粧函 一打入 半打入
（商品券）

ディーゼルエンジン 運轉手募集
經驗アル者三名
自筆ノ履歴書携帶來社アレ
大邱府東本町 大興電氣株式會社

文書傳道
□信仰と修養の爲め、キリスト教研究のため、五百餘頁の書物を備えてあります。ハガキでお申込みになれば、御希望の書物を無代にてお送り致します。
□又、日曜禮拜を重んじて、毎週木曜日に、御家庭に新生を、各會員にお送りして居ります。
□御希望の方には多忙なればそれだけ、信仰の力は必要であり、家庭に平和と樂しみは心ある主婦たる人の務めなり。信仰の力に由て得られます。
京城府冠鐵洞三三 京城 新生會 電話光化門一七六〇

工事請負入札
平壤兵器製造所工作附屬建物營繕工事外一件 七月廿四日入札 詳細ハ七月拾四日ヨリ府官報ニアリ
平壤兵器製造所

購買入札
一、防蟻液注入木材
右購買入札 詳細ハ七月十二日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
總督府内務局土木課

りん病 根治 秘法
慢性も急性もワヅカの日數でキツトなをる寺傳の秘法と靈驗を教ゆ 返信料そへてスグ申込め
西宗寺

タケヲクン ブユウデン

ハナシ オヂ

（ツヾキ）ハマクチ ヨシミツ

シバラクスルト オジイサンハ クチヲヒラキ
「オマヘハ ナカナカ イサマシイ コドモダ オジイサンモ カンシンシタヨ。ダガ イマゴロ ナンノキデ オヤマヘ ノボツテ キタカネ」
トタズネマシタ。
「ソレハ ホカデモアリマセンガ コノオヤマノ ウヘニ マイバン フシギナ ヒガ トモルトキイテ ソノシヤウタイヲ ミトドケニ キタノデス」
ソレヲキクト オジイサンハ ワライダシ
「ナンダ ソンナモノヲ ミトドケニ キタノカ ソレハ ワシノオウチニ トモス ヒダヨ」
「ナニ オジイサンノ オウチノヒダツテ ナンダ バカバカシイ。ソレナラ オジイサンハ ドウシテ アンナ タカイオヤマノ ウヘニ スンデイルノ」
「シズカデ イイカラサ」
「ダケド オジイサン ソノトシニナツテ ヨクアンナ ケハシイ オヤマニ ノボレマスネ」。
「ナンデモナイヨ ワシニハ トブキカイガアル ダカラ ウソダトオモウナラ オマヘモ イツシヨニ ツレテイツテアゲヤウ ワシノセナカニ ツカマツテオイデ」
オジイサンハ イハカゲカラ オホキナ ハネヲ トリダスト ソレヲ ムネニツケ ガラガラト キカイヲ マハシマシタ スルト ハネハ フハリ フハリト ウゴイテ フタリハ シズカニ シツカト ツカマリナガラ
「コレハ ナカナカ ベンリナ キカイダ ボクモ コレヲ ツクルコトヲ ナライタイモノダ」トオモイマシタ。

婦人週間

婦人夏姿（二）……府内若草町宇那宗一氏長女　須磨子さん

夏の自然美を現はした生花

未生流　中島錦泉

活花の種類は生花、立花、投入、盛花、瓶花、小品物、茶席花等があつてその流儀の數は那邊に二百四十余流の多數でありますこの多數の流儀も花形においてはおの〳〵異つておりますが精神といふものは皆同一なものでなくてはなりません私はその精神について少し書いて見たいと思ひます

△初心者の方々の爲めに先ず第一活花と云ふものは如何なる心得が有つたなら生け得らるゝか。是が最も必要な事と思ひますので是を左の三つに分つてお話いたします

◇第一精神、第二材料と花器、第三花形の方則。精神とは活花の最も大切な事でどんな花を生けるにも精神が入つてゐなかつたなら折角立派な材料で綺麗な花器に申分のない花形が出來上がつてもそれは死した活花にひとしいのですからの〳〵流儀によつて多少の相違はありますが宇宙の

大自然

を一つの花器に縮めてこれを精神とせるもの最も多いのでこの大自然とはいはゆる天地山水活花の指導をしつゝある先生方の中にも大へん間違へかかへの違つた方々が有ります特に投入盛花等になりますと只無意味に花器の形大小にもかまはず投げ込んでそれで自然であると、實に間違ひも大へんなものと思ひますそれは大切な精神も入つてをらねば草木の自然にもなつてをりません草木の自然とは山野水に生々として或は繁茂となりて生茂して居るこそ眞の自然であつてこれを一度切り取り又は手折り或は根枝にしたなら生きた自然を缺いだもので、これを元の自然に生かしてやる、これが活花の自然といふので普通その眞の草木を無意味に投げ込んであるのは死した自然を活けてあるのでありますから草木の自然を入れるといふのはどんな具合になしたらよいかといへば或は春夏秋冬の如きもので文中には際智相によつていけるものもありますいづれにしても藝術の興感より出たもので深く研究すべきものであります。材料と花器について　はまず材料これは一口に申しますと草木の自然すなはち松は松らしく菊は菊らしく蓮は蓮らしくといふのが一番大切な事でこの草木の

自然に

ついては從來一旦死した草木なるがゆゑに人工によつてこの自然より以上に美化さすいひかへたなら自然美と人工美の最もよく調和したるものがよいのであります。次ぎに花器は出來る如く研究が必要であります材料に最も適合的なる事が大切で如何なる種類のものでも使用出來ますが私の教授してをります第三の花形の方則これは各流派相違してゐますが未生流では起。殺。流。留。花の五體に形取つてをります各派によつて名稱は違ふがいはゆる五體に取るが活花の形式方則であります これについては少しこまかく説明したいのですが紙面の都合で後日詳く書にいたしますこゝで花形の必要條件の大略はお判りの事と思ひますが華道といふものは奥に入れば限りのないもので又中々

趣味が

深いものであります特に投入、盛花、瓶花の如き藝術的最も趣味のある自然を主としたものは文人的な趣味の深い研究の余地ある面白いものでありますその本當の氣持ちのお分りの方はまだ少いやうに見受けますので一例を明して見ませう、夏季にふさはしい涼味を感じさせる花を入れ様と思ふ時どんな工夫をするのが上策でせうか第一に花器は水盤の淺いあまり小さくない海色のもの第二は材料、これは表すべき精神によつて選擇する事或は深山幽谷を表さんとせばそれに適當なる材料を使ひ、或は海岸、川端、澤、沼をあらはさんとすればそれに適した材料を選ぶことが最も必要なる事でありますそうして同じ涼しさにても水面の多く表れる

涼さと

深山幽谷の如き神秘的な涼味をあらはす時の氣分これは理外の理にて藝道の研究をなして得ゆるべきものであります、が、かくの如く細心に頭を使つて造上げ自分の思ふ如くその氣分あらはれたる花の出來上がつた時の感じは何共たとへ様のない藝術的快感なものであります。私は右の様な精神を主とした盛花投げ入れについてこれから機會のあるたびに發表して同好者の參考に供したいと思つてゐます、私の希望は投げ入れ盛花に趣味をお持ちになる方々は流派を問はず深く藝術を研究せられ描寫的形式主義の瓶花を獨創的な自由花に變化せられ有意義な藝術的興味のある自然美と人工美の調和のとれた投げ入、盛花、瓶花を研究せられん事を御すゝめいたします。寫眞は

高原の

盛夏をあらはしたもので主位は深山をあらはし副位は溪谷をあらはしたもので、その神秘的な感じをたゞよはせたものでよく高原の盛夏の感じを出したものであります

婦人問答

和服と洋服

◇…答　平山政榮女史
時　十二日午後二時頃
所　府内[illegible]洞平山氏宅

記『非常に御多忙のようで御座居ますね』

平『えゝ非常に忙しいのです牧場の事や淑明女學院の事等でこの暑いのに飛びまはつてゐます』

記『でもいつも御元氣で結構ですな、あなたは始終洋服ですか』

平『そうです、洋服は經濟的で活動致しますに非常に便利です和服になりますと愉快に萬事を行ふ事が出來ないのみか不經濟ですまづ一例をあげますと外出致しますとき洋服ならば下衣と上衣が各一枚あれば差支御座居ません、またはたから見ましても見苦しい事はありません、しかし和服になりますと、着物の上に帶が必要になつてまゐりますその上にむしあつさを感じさせられます殊に今日の時勢はいたづらに古式な所謂日本風習は受け入られません、和服はたゞ服飾發達するためにのみのものでありまして實際向きではありません そうすればその洋服の生地の事になりますが、これは我國で出來るもので結構です否それ所ではなく現在の所我國の織物に勝つてゐるものは外國にも少い位です、それについてこんな面白い話が御座居ます、私の外出着は先般三越で買ひましたがこれは元來羽織地ですがこれを洋服にしたてまして着けて居ますとある外國婦人がそれを見まして『ほんとによい柄ですが一體どこの國で出來たものですか』とお問ひになるのです、で私は我國の製品で三越で買つたですと申しますと『まあ』といつて驚かれ早速その方もその柄と同様なものをお買ひになりました、又先般フランスから歸國されました友人の方が私にとおつしやいましてフランスで流行の服をもつて來られたのです、と驚くではありませんかそれは我國でつくられた生地でこしらへられたものでそれと同様なものを私はもつてゐました一體如何程しましたかとき、ますと『八十圓』とのお答へです、驚きました、私は廿數圓で買つたのですもので私は我國での製品がまづ先方で、はやりそれが再び我國に戻つて流行をなすのだといふ結論が生まれした、何たる不經濟な事でせう……しかし洋服に致しますなら全部現在の小幅物を大幅物に改良しなければなりません、そして又外國のそれと共通するやうに統一させねばなりません、でなければ結局布があまつて不經濟になります』

記『婦人が職業をもつといふ事はどうです』

平『生活のためにやむを得ず職につかれた方はどうも『ひがみ』がすぎて居るやうに見うけられます、しかし今日一度は他人に使はれ社會の實際を知ることは必要であます』

記『職業を婦人がもたれますと家庭の温かみがうすらぐやうに思ひますが』

平『それはいけない事ですどんな時でも婦人は家庭にあつては家長の命に絶對服從でなければなりません、よくきゝますがアメリカの婦人は夫の命に服從せず隨分きまゝな生活を送つてゐるやうですが彼地でもそれは斷然せられぬ所排斥されてゐる相です、よき家庭ではいかに婦人が智識があつても夫には絶對服從とのことです』

夏の思出……（九）

美味しかつた めうと饅頭

佐藤新子夫人

東京の錦町女學校に通學して居ました時、そうですもう今から十數年前の事ですが毎年暑中休暇になりますと葉山にまゐり一色の海岸でよく遊びました、波は逗子より少し荒いとのことですが海岸は葉山より少く實に靜かな海水浴場としましては邊鄙な所でした

◇その近邊の村では毎年お盆い時節になりますと精靈流しをいたします、それがまた非常に美しく都に住んで居ます私にとりましてはそれを見物に出かけるのがこの上もない樂みの一つでございました

◇そこには又めうとまんぢうといひましてもおいしいおまんぢうがございました中食がすんで水を浴び空腹になりますと早速そのお饅頭を買つて來ました、そのおいしさは今日でもまだ記憶してゐる位で御座います

◇またその裏には小山がありました、山百合や他の美しい花が咲きみだれてゐてよくお友達とその小山に登つては草花をつめみました

◇京城にまゐりましてからもう足掛十年になります主人が休みのない職にたづさはつてゐるものですから夏がまゐりましても避暑などに出かける事は滅多にありません、時折元山や馬山に共に行くとは御座ゐましてもあの澄みきつた一色の水を見てゐるますゆゑお詠く氣にもなれません

エメラ美粧 實演大會 十七日三越で

一年中で最も化粧くづれのする今日この頃、如何にすればそれを防ぐことが出來るかは各御婦人方の誰しも望んでをられる事であらう、この時京都において美粧界の權威とされてゐるエメラ美粧部では二非原龍代子女史外數名を朝鮮および滿洲に送りその實演大會を催すはずである一行は十七日午前十時から午後五時まで三越三階で一般婦人に開放してこれを行ふ事になつた、時節柄よき催しものとして各婦人間に期待されてゐるがそのプログラムは左の通り

一、家庭美顏術
二、アレ性の方の化粧法
三、さわらび卷
四、正式化粧法
五、エメラ卷
六、基礎化粧法
七、御婚禮化粧法
八、一分間化粧法
九、刷毛一本で出來る汗に崩れぬ夏の化粧法
十、宿付婚禮、訪問モダーン

スクラップ

龍山にある鐵道局工務課分室には府内の女學校を卒業した小數人の可愛らしい娘さん達が勤めてゐるが、最近あついためか毎日皆食後氷を買つて來て涼し相に舌鼓をうつてゐる、炎天下にさらされて酷暑の中に汗みどろになつて働く彼女等にとつてこれこそ一番樂しき時であり慰めであらう

◇府穀、全北、慶北の後子供の臨に精進されてゐる加藤三越支店長夫人はこの夏には夫君、お子供さん、同伴で金剛山を踏破される由

◇南山町の大垣さんのお宅には昼に通學してゐる須々木、石塚、上田の各令孃さん達、裁縫、ミシンの修業のために來城してゐる、娘さん達全部十人あまり寄宿してゐる、大垣夫人はこれ等の人々の母さんといふ所で慈愛をもつて躾み、寄宿してゐる人にも『親母』の様に親まれてゐる『こうやつてゐますと實の子より可愛い時があります』とは夫人が記者に語られた言葉

◇女流運動家としてしられてゐた小田部智惠子さんは淑明女學校卒業後久しく家事に從事されて居たがこの程府の衛生課に勤務されることになり生活戦線の一線にたゝれた

◇山崎春日さんのお母さんさき頃より病にかゝられ臥してゐられたがこの程やゝ快癒、臥しまだ全快とまではいかぬ

◇旭町の新藥興信所長谷部さんの夫人和子さんは[illegible]女學校卒業後京都の[illegible]に入學されたが去る廿日の暑中休暇で

◇京城が生んだソプラノの唄ひ手本府技師三井榮長氏の令孃絹子さんは來る十六日公會堂で開かれる同志社グリークラブの聲樂の夕に獨唱出演される曲はマスネの女が青き目を明け、ナップの寺院のドアをひらけ等絹子さんの最も得意とするものばかり

◇草間秘書課長夫人は府内における長唄同好者の各夫人連十余名とゝもに細絹會といふ長唄のグループを組織、毎週旭町のお宅で會を催されてゐるが來たる廿五日には大會を開くとの事

◇府内貴樂町高陽精米所長中島氏の愛兒和子さんと紫子さんこの程猩紅熱におかされ夫人は御二人の介抱に專心夫人のあつき看護によつて一日も早く御二人の全快されんことを……

女醫の述懐

小田都（投）

おもひかへしますともう二年になります、ろくすつぽ御飯さへも眼けぬに深夜を抑出されてから。これで歯科醫師なのかしら、一枚の卒業證書が私に見せようとする社會の出發點で私は全く面喰してしまつたのです。小兒歯科を専門にしていつまでも桃太郎を語らう鳩ポッポをふのだとしてゐた小さい私がさて開業の第一日に改めて先生つて言葉に對する私の自然らしくとるべき態度についてどんなに苦心した事だつたでしよう。美しい人の口見ズボンの折り目ばがりを氣に掛ける人のやにつ面今はもすつかり餘裕をもつてその人々の心をもうかゞひ得ます、毎日〳〵不愉快な顏をした人々にのみ接してゐる私が自分の肩までくつきりひそんでしまつた様です。でも面白いんです

るらした時は盗布を嘲まれた様な顏をしてゐられますがお醫りにはみんな當然の仕事をしたに過ぎないだら私に快活に謝辭を述べて行かれるのですもの苦痛を訴へ續けられてゐる人から苦痛をすつかりその苦痛になれてゐる苦痛に對する開業當時の深い同情と意識がピンと頭いてきなくなつた事に私自身女性としての惱みを感じます。治療さへすればすぐ歡痛するものだ。といふ自分の職務的な潜在意識をしみじみあさましく思ひます。

もゝ色の歯齦にチカッと銀色の管をたてゝ突さゝる注射針の先から、白く白く患者の愛苦が放散してゆく時の氣持ら　よどんだ牛乳の様にブョ〳〵した齲齒にズブッと翫味をみせるメスの感觸　頭でもいい筍でもいい、私は私の仕事に醉しい時觀を見いだすものです、でも實際歯醫者つて事が悲しい事實であり過る事もあります。眠むる時迄も忘れて造つた義歯が翌日うまく適合しなかつた時患者から叱られる様な口調でものを云はれた時油がのつてゐる歯齦に離症の治療にかゝつてゐるのにちつとも痛まなかつたからと涼しい顏で一日二日をすつぽかされた時泣いても泣ききれないやりどころのない心を感じますでも女醫は止められないのです

お姉樣先生今日ちつとも痛くなかつたの私御飯たべないで學校からすぐくるのよ、明日も來たつていゝんでしよう

齒だけはくまなく磨いてもらいたいと願ひます、せめて朝だけでも

先生つて呼び名にもなれました血をみても平氣です、けれどけれど齒だけはくまなく磨いてもらいたいと願ひます

帝國ホテル支配人
先頃知友の嘲笑に甘んじ、異國の空でコック修業に油汗を絞り、三十五歳の晩年で遂に帝國ホテル副支配人に招聘された犬丸氏の血涙の半生物語「富士」八月號

中元贈答品
色々揃ひました
大和軒

『聲樂の夕』のプログラム

十六日午後八時公會堂で

京城キリスト教青年會主催で十六日午後八時から府内公會堂で催される京都同志社大學グリークラブの聲樂の夕のプログラムは左の通り

第一部
一、合唱詩篇第九十八篇
二、二重唱、春の喜び…ベートーベン
三、合唱、イ、かへれロ、我國兵士
四、女聲重奏　三井絹子孃　山中幸子孃
四、イ、私の太陽上……ナポリ民謡
　ロ、ベニスの船唄……ブルーメンタル
五、四重奏　イ、二つの薔薇……ウエルネル
　ロ、ビンゴ……ブラカン
六、合唱……ハレルカ十字架……マックガラナハン
休憩
第二部
七、合唱……郊宴の歌……セーデルマン
八、四重奏　イ、星の騷ぎ……ホーソン
　ロ、稲屋の歌……ズッペ
九、合唱　イ、踊離：ハウプトマン
　ロ、蚌：獨乙民謡
　ハ、鵜：日本民謡
十、ソプラノ獨唱…三井絹子孃
　イ、汝が青き目を開け…マスネ
　ロ、寺院の扉をひらけ…ナップ
十一、四重唱　イ、汽車
　ロ、オイ、ジョンサン、……ブラットベリー
十二、御蔭いとたかし……モツアルト

浪花館　十六日から十餘名から成る内地新進の浪花節青年大會を開く

京龍館　（十五日から）『地球は廻る』三部曲全二十卷▲

JODK プログラム

七月十五日（日曜日）

午後〇、三〇　氣象概況及各地天氣實況
同一、〇〇　伽耶琴並唱　數種　沈相健
同二、〇〇　ニュース
同六、三〇　童謠　同　小松耕輔作　ひばりの水汲み　同　中山晉平作　雀の機織　杉山長谷夫作　ピアノ小人　花嫁人形　清水咲子　清水幹三
同六、四五　講演　三人不具　東京一僧社々長　宮本東樹
同七、二〇　三曲合奏　相枕　三絃　富田かの　箏　菊田光子　尺八　森田仙堂
同八、三〇　義太夫　語　沼津　三味線　豊澤[illegible]　藤屋[illegible]
同　ニュース
歌詞　歌曲　金[illegible]
朝鮮音律　金[illegible]
同九、四〇　時報、天氣豫報、プログラム發表

英國が金に歸る迄(二)

(C) クレヂツト設定

イギリスの金本位復歸に就ては物價問題が非常に喧しく論議されたのである。由來イギリスの物價とアメリカの物價とは戰前に於いて大體同じ水準を保つてゐたのである。それ故に英米の物價指數を比較研究してイギリスの方が高ければポンドの國內に於ける購買力はそれだけ低いのである。之を換言すればポンドの對內的價値と對外的價値にそれだけの差がある譯である。更に今一層明瞭に言へば爲替が上がり過ぎて居るのである。それ故に當時の爲替相場は金本位復歸を見込んだ思惑に依つて高値を維持して居るものとせねばならない。若し金本位復歸後にイギリスの物價が下がるか、アメリカの物價が上がるかしなければ、爲替は下がるかも知れない。さう云ふ場合には金の現送を行つて爲替相場を維持せねばならぬ。そこで政府は委員會の所謂調ふ所に從つて愈々最後の準備行爲としてアメリカの聯邦準備局に二億ドル、モルガン商會に一億ドル、合計三億ドルのクレヂツトを設定した。此の措置に關しては金本位條例中に一條項が設けられ解禁の日から二ヶ年以內は政府は適當と信ずる方法に依り當時實買の資金を調達する事が出來ると定められた。聯邦準備銀行の分は實際に使つただけの金額に對し利子を拂ふ事になつてゐた。其の利率は聯邦準備銀行の公定割引率に一パーセントを加へたもの但し最低四分、最高六分と云ふ事に定められた。モルガン商會の方は實際使ふ金額の如何に拘らず一億ドルに對し最初の一年は一分四分の一、次ぎの年は八分の五パーセントのコンミツシヨンを拂ふ約束にしてあつた双方共二年で返濟する契約であつた。此のクレヂツトに就ても大分非難があつた。それはアメリカに於て金の用意をして置けば、イギリスから金が流出しない。さうすれば物價や勞銀が下がらぬ從つてポンドの對內價値と對外價値が調節されない。それ故にこれでは爲替の本直りが期待されず。金本位復歸の根本精神を空しくするものであるといふ非難であつた。一九二五年四月二十九日の大藏大臣の演說中にも此のクレヂツトを利用するに先だち『他の方法』を行ふと特に言明した程であつた。兎に角此のクレヂツトの設定に依つて金本位復歸の準備は完全に出來たのである。斯くしてイギリスは有力な反對論者があつたにも拘らず、一九二五年四月廿八日を以て立派に金本位復歸を言明したのである。(完)

硫安の需要供給(上)

近年頃に激增を示す

現在農村で使用される肥料は自給肥料として廐肥、堆肥、綠肥、人糞尿、販賣肥料として大豆粕、硫安、硝石、石灰窒素、調合肥料、魚粕、骨粉等で農林省の推定計算によれば、內地の總消費額は一ヶ年約六億五千萬圓、その內販賣肥料は三億一千萬圓に達してゐる。しかしてその主なるものは大豆粕四十一パーセント、調合肥料十七パーセント、硫安十五パーセント、過燐酸六パーセントを示してゐる。これ等販賣肥料の輸入額は最近三ヶ年平均一億六千萬圓で、この內譯は大豆粕九千三百萬圓(五十八パーセント)硫安三千七百萬圓(二十三パーセント)である。販賣肥料中割合に重要視されてゐる需要肥料は大豆粕、硫安、硝石、魚粕等であるが、從來この大宗であつた大豆粕は漸次硫安に需要がおこつて來て、大豆粕の減少に對し、硫安は逐年增加の趨勢を示して來た。左に農林調査による數字內譯左の通り(單位トン)

年別	大豆粕	硫安
十二年	一、六六九、四二〇	一四〇、五〇〇
十三年	一、三一一、七二〇	一六七、〇〇〇
十四年	一、〇〇一、一四〇	二〇一、〇〇〇
十五年	一、三五五、五四二	二三九、〇〇〇
二年	一、二〇五、八九〇	一四六、〇〇〇

然して內地における硫安の需給狀態は內地消費高は約四十萬トン、供給は十七萬トンを內地生產により、その他不足は輸入硫安で、その步合は昭和二年度輸入物六十パーセント、內地品四十パーセントとなつてゐる。尙輸入左の通り(單位千圓)

年別	內地生產	輸入
三年	六〇、〇〇〇	一四〇、〇〇〇
十二年	一〇三、〇〇〇	一四四、五〇〇
十三年	一二五、〇〇〇	一四一、五〇〇
十四年	一五〇、〇〇〇	二〇一、〇〇〇
十五年	一七〇、〇〇〇	二三四、〇〇〇
二年	一七〇、〇〇〇	二四六、〇〇〇

卽ち內地生產額は十四年間に十倍以上の激增を示し、輸入は二倍半の增加でこれに對して需要高は約三倍半一ヶ年平均二萬二千トンの增加に當たつてゐる。內地生產が異常の增加を示したのは主として戰時輸入の困難に刺戟されたのであるが一方需要も著しく增進したため過去五年間はその六割は外國硫安の壓迫を受け、特にドイツ硫安の輸入增加からや〻もすれば相場はドイツ品に左右される狀態であつた最近日本品の擡頭につれて獨逸英國硫安の勢力を增して來たが、しかしドイツ品は依然として侮り難い勢力を持續してゐる。大正十四年以降の輸入外國の內譯左の通り(單位千トン)

國別	十四年	十五年	二年
獨逸	[illegible]	[illegible]	[illegible]
英國	[illegible]	[illegible]	[illegible]
米國	[illegible]	[illegible]	[illegible]
其他	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

なほ最近とみに需要の增した朝鮮臺灣における過去三ヶ年の供給狀況を示せば左の通り(單位トン)

朝鮮

年別	輸入
十四年度	一四、九〇〇
十五年度	二九、八〇〇
二年度	三一、一〇〇

臺灣

年別	移入	輸入
十四年	一五、四〇〇	二九、八二〇
十五年	九、四〇〇	四三、七〇〇
二年	八、〇〇〇	三七、六〇〇

日銀券回收

十四日に回收された日銀券は發行高十二億二千三百卅三萬九千圓、前日比較十億六千二百七十三萬七千圓と、前日に比較して四百二萬千圓の減少を示し、日々回收されて來た。この結果限外發行高も四千六十萬一千圓と前日より四百

銀行帳尻 貸出超過

三千三百萬圓

京城組合銀行六月末の貸付高は六千八百七十四萬四千圓、回收高六千七百十一萬八千圓、月末現在高一億二千六百七十四萬三千余圓であつて前月末との比較左の如し(單位千圓△減)

貸付高	四、一一五
回收高	△三、五〇〇
現在高	一、六二六

しかして一方同月中預金を見るに受入高二億一千八百十七萬七千余圓、拂出高二億一千四百五十五萬圓、月末現在高九千二百七十余萬五千圓で結局貸出超過三千三百九十六萬八千余圓を示したが、預金の前月中比較左の如し(單位千圓△減)

受入	△一六、七〇〇
拂出	△二四、二二一
現在高	三、六二四

二萬七千圓を減じ、貸出高七億八千五百二十五萬四千萬八千圓方何れも減少し金融界は月央いよいよ弛ゆるみを示して來た

需要期なるに慘たる糖界

明年の產糖協定より目前の善後策を講究

世界的增產のなやみと內地需要期なので各社の販賣競爭が激烈に行はれるため砂糖の市價は日に慘落をつげ憂慮すべき狀態に陷つた、しかしてこのま〻放任すれば今後なほ慘落を免れぬ狀態にあるので內地精製糖業者新高興業糖石川氏、大正製糖中山氏等は明年度の產糖協定は別として目前の善後策をとることになり協議中の處この對策として

一、朝鮮移入糖の防止

一、精糖協定による供給數量を一割程度減量すること

一、而してこれを分期供給すること

などを決定し日糖、明糖、臺糖、新高興糖等各會社を歷訪し糖價挽回の對策を講じることになつた

現させた。しかして一方大阪定期は先限十一圓八十錢を示し、海外相場は產地はスラバヤ市況軟調、相場は十三ギルダ二十分九で商內出來、ニューヨークは二ドル三十六セントで二千五百袋の商內出來たなど依然として不振であり、海外の不況を眺めて糖界は一層不安な商狀を示して來た

依然として商況不振

戰前の安値來

戰前好況をよそに無氣力なる商勢を示してゐた砂糖は、十四日も引續き不味の商狀を示し、相場は精糖廿一圓三十錢にからくも保合つてゐるが、大阪市場は二十圓六十錢、京城市況は二十圓八十錢見當、九十錢と依然として二十一圓臺を割れの光景で、需要期なるに拘らず糖價は戰前の安値と同一値を出

金融調査會の準備進捗す

金融調査會準備委員會では每週二回本府で開催されてゐるが、改正銀行法に關する件はすでに大體準備も出來たので、近く全部終了の上、金融調査會を成立させ、先づ銀行法に關する法案を決定するか、金融債券無盡、貯蓄等の附帶事項にまで準備調査を進めた上、全部を一纏めにして調査會を成立させるか、何れかに決定を見る模樣である

朝鄕九州線 博多寄港

近く決定か

朝鮮郵船の九州航路博多寄港については、さきに博多商工會議所より朝鮮總督府に要望陳情し、最近福岡縣商工課より更に總督府に陳情すると共に、朝郵には寄港の條件として、若松に寄港しない點及び市の補助金一萬五千圓の附帶條件は長崎若くは三角寄港を要望するところあり、近く復航博多寄港も實現することになつた模樣である。右につき總督府朝郵社長は語る

朝鮮京濱間の總督府命令航路の往航はまだ命令書は貰つてないが、既に本府並に福岡縣市當局諒解のもとに朝鮮東西兩海岸主要港より博多に月二回本年四月から寄港してゐる。今度のは復航寄港の問題であるが、此の方は總督府の命令航路に關聯して一日遅れることになるので、その點を考慮し適宜の處置をとつて近く實現さし度いと思つてゐる。釜山博多間は對馬汽船が月十回位就航してゐるが、朝郵は愈實現すれば東西兩海岸と博多間を往復共結びつけることになる譯である

大邱穀信 配當二割据置

社長は更迭

大邱穀物信託株式會社では十二日の重役會で、第十四期決算に關する件、次期豫算案を審議決定し、次いで若林社長の病氣辭任のため役員選擧を行つた結果社長に齋藤嘉三郞氏、常務取締役は古谷治郞氏に決定した。なほ定時總會は來たる二十七日組合樓上で行ふはずであるが、配當は年二割に內定してゐる

三井物產增配

今期一割二分

三井物產では來る二十日本社で定時總會を開き、今期決算案を附議することに決定したが今期純利益金は前期の五百萬圓に比して百萬圓增加の六百萬圓に達し配當も前期より二分增配の一割二分配當に內定した

仁川穀信總會

仁川穀物協會は來る十七日同樓上において定時總會を開き、上半期の決算報告並に取引改善等を附議することになつた

降雨あるがなほ雨不足

一部では大正八年の旱魃を繰返すのではないかと心配されたが、今年は植付最中の旱魃とて憂慮されてゐるが、仁川測候所調べの十三日から十四日にかけての降雨は西鮮、北鮮地方に相當の雨量があり、なほ降み、降らずみの天候とてこの旱魃も愁眉を開くといひ、十三、四日の降雨量左の通り(單位ミリ)

木浦四▲全州九▲京城一▲平壤二六▲龍岩浦三▲城津三▲雄基四

鮮米輸送高激增

協會の報告によれば、六月は著しく米に人氣移つてゐたのと內地米が割安であつたため前年高の朝鮮米の取引手合は困難であつたが、六月における協會移出高は玄米二萬三百二十六石、白米二百二十八石計二萬四百五十四石で昨年より二倍方の增加を示した、尙昨年十一月出廻期より京濱方面への鮮米移入高は九十九萬七千餘石に上り昨年より三十九萬石の激增を示した

安取粟取引

安東取引所十三日の滿洲粟相場は左の通り

	前場 七月限	前場 八月限	後場 七月限	後場 八月限
寄付	六〇五	六〇五	六〇五	六〇五
高値	六〇五	六〇三	六〇三	六〇三
安値	六〇三	六〇二	六〇二	六〇二
引値	六〇三	六〇二	六〇二	六〇二
出來高	三車	出來不申	出來不申	二車

鮮銀帳尻

十三日 (單位千圓)

	十三日	比前日增減
發行高	九三、一四四	減三、八二二
正貨準備	四三、六九七	減九七五
保證準備	四九、四五〇	減三、五七

日銀帳尻(十三日)

發行高	一、二三一、三三九	減四〇、二二二
正貨準備	一、〇八一、一八一	同
限外發行	四〇、六〇一	減四〇、二二二
貸出高	六七四、二一四	減三二、二八

東京コール(十四日)

無條件	五厘乃至	一錢一厘
翌日拂	五厘乃至	一錢一厘
普通	五厘五毛乃至	一錢一厘

對外爲替(鮮銀建値)(十四日)

倫敦	一志十片三二分ノ二三
紐育	四十六弗十六分ノ一
上海	七十兩八分ノ三

海外經濟電報

倫敦銀塊	二七片一六分ノ三
紐育銀塊	五九仙八分ノ一
英米爲替	四弗八六仙三二分ノ七
對米爲替	四六弗丁度
米棉	八十錢安
印棉	四十錢安
スチール株	一三七弗丁度
アナコンダ株	六六弗八分ノ一

落穗

不振の折柄七圓五十錢の搬込みは困ると思ひの外京東銀行の搬込みは困るとて七千株の失權株が出來た▲困ると思ひのほか鑛業で七圓六十錢で賣れた▲金といふものはある所にはあるものだね…を如實に示す▲朝鐵に買收された、價格八百十萬圓は公債で公付さる。應募がこの公債市價の暴騰で百圓につき三圓方騰貴してゐた。この利鞘に顧客もホクホクもの▲砂糖はまたも慘落いつも需要期には二十五錢位騰るが今年は二十錢▲砂糖屋は大騷ぎだが需要者は涼しい顏。安いことはいくらでも歡迎、モツト安くなれ、ではないか

株式

不良を續ける 大新百圓臺割れ

前場 昨十三日後場不良の個所も今朝も內地の不勢を移して當先、小緩みを演じ依然不良の場面であつた、而して商內も利喰物やマバラの思惑物で氣乘らず閑散を呈した、かくて昨後場止に比し京取十錢安東新七十錢安であつた尙大新は今前場にて百圓臺割れを演じ九十九圓三十錢と引けた

諸株共戻す 地合底堅き風情

後場 前場不良の機先、後場は戻り步調に轉じ京取、大新、東新共に回復した、かくて結局昨後場止に比し京取同事東新一圓二十錢高を示した

投げてこそ初めて回復

今朝も相場は大新九十九圓三十錢、東新百八十八圓八十錢と不良を呈したのみで人氣は依然とせず商內も小口のみで閑散を呈した、只單に小材料のための不良であつて下向きは止むを得ないが、又其うち以前硬派に屬して居た大手筋も玉整理のため投物を賣すことになるのも止む得ないらしく而して其際は相場か又復回復するであらうとの觀測もあつた

買過ぎの咎か

內地の大手筋は先に大相場來と先高見越しに買過ぎとなつた形跡があり、それで居た機先、今朝は紡績株は安、更に紡績株小味辛買氣を退潮して居た機先、今朝は又復不振綿絲等一齊に下落し鐘紡は益々惡く內地は百四十二圓丁度に引けた。要するに、現在既に押目押目を知らず買過ぎた形跡がある所へ、かくの如く綿糸の不味は勢ひ大新東新等にも響かない譯に行かず從つて目先鈍狀を示し勝ちなのは仕方のない所とされた

此邊利喰が賢明

今朝も又復不良を示して居たので一般に警戒勝ちのうちに推移し硬軟双方共小口の思惑物を商したのに過ぎなかつた。硬派としては現今の不良は米相場安に因をなして居るもので一時人氣株に影響したのでなく、以上そう容易に下向くものでなく、又そのうちに捧立ちを演ずると見てゐるが他方軟派はまだ此處當分は下向くものとして居る、併し一般としては此邊小相場を以て終始と、利乘りしたものは利喰するのが賢明であるとの觀測が有力視してゐた

代引は凡調子

今朝の代引況は前日と大差なく京取は八百六十枚と前日より七十枚增加し、大新東新は共に此日步を一錢方を下げ立會は算定九十九圓と一圓下げ百六十九枚で十枚を增加した、同東新も算定百八十九圓と一圓を下げたが、他は變らなかつた

今日の手口

相場は益々下向き初め、前日まで小堅りを示して居た大新も今日百圓臺割れを演じたので双方目先を警戒し大口の商內もなく小口のみで閑散を呈した、かくて昨後場の出來高二〇〇枚に對し今朝は京取一〇〇枚であつたが、別に目立つたものはなかつた、今朝の三〇枚以上の手口は左の如し

京取 買方新田五〇京證三〇▲賣方田中道四〇金秀四〇

大新 賣方新田一〇田中友六〇正崎三〇松山三〇▲買方新田六〇正崎五〇松山五〇田中道三〇

東新 賣方松山一二〇正崎一〇白樂三〇

本玉

十四日前場に於ける百枚以上の建玉左の如し

京取 賣方古川三一〇京證一〇〇新田九〇外小口一店▲買方白井六〇洪設一〇〇▲金龍二〇〇成清一八〇松山三〇〇外小口三店

大新 賣方正崎九七〇古川一一〇京證一一〇松山七二〇▲買方白井三三〇田中友一一〇松山一〇〇外小口三店

東新 賣方正崎二五〇市川一二〇外小口四店▲買方白井一九〇金龍六五〇松山一〇〇新田二〇〇田中道一九〇市川

つよきよわき

株式 今朝は商內も小口のみで大口を見ず、從つて鞘しかつた。買方は依然踏張り通してゐるが、軟派も强いて賣らうとせぬ。押しても滲からずと見てゐるためか

△しかし押目買人氣はなかなか强いだけ昨今では知らず知らず買過ぎの風情ありともいはれる。投げなければ回復もむづかしからう、との觀測有力。だとすると目先戻しても大きくは見られないか。

△しかして安かつたら買ふの押目狙はなかなか拔へぬらしいが、

期米 阪地では買方主力がことごとく泣いてしまつたらしい

△阪地より東京が五六十錢も下離つても緣の下の力持ちと見たのを叩かれるやうではいくら頑張つても知れぬ

△明けばいつまで經つても旱魃の買氣は衰へないとか

△もう神は未だなりとこの買人氣が踏りに變るまでは本當には直れないのかも分らない

△何にしても政府さへ百五十萬石の米を背負込んで持ち余して居る米だ。單なる旱魃見越で買進むのが間違つてるかも知れない

期米

快晴で跳返しの風情

前場 今朝阪地は下寄りしたが當所は天候の快晴に賣方の警戒と押目待ちの買物で當限廿六圓七十五錢先物廿六圓七十九錢と手堅く寄付き、硬軟双方の氣乘薄に一ト低を繰返したる、併し七節以降は阪地の手堅き商狀を受けて⊕⑫等からよく買物現はれ八十錢から八十七錢と更に跳返して前場を終つた

七圓關門往來

後場 前場跳ね返しの機先、後場は先限二十七圓四錢と强り氣に寄付いたが二節七十八錢を割り十六圓九十九錢三節九十八錢と下げ五節九十九錢と又復跳返し模樣を示し大引けでは再び七圓丁度と戻して來た

待雨ち雨案じ

全鮮植付濟みの水稻が未だ七割强に過ぎない狀態に付き、目下市場の人氣は天候の如何に集中され天侯が晴れると直ぐ旱魃氣構への買物を誘致して相場はピシと跳返し反對に少しでも曇ると雨見越しの賣物を誘ふて仲惱むと云ふ風に全く一喘一憂に依つて高下を繰返す外なき狀態である

在米から見て未だ動けない

時は天災一本を材料として取引する時代なので、何時どんな變化を誘發しないとも限らないが、米其物の實情から今後の成行きを考察すると、鮮米の移出高は早くも六百萬石を突破せる上に、外米と滿洲米との

この調子では前の高値を拔くことはとしてもそれは來月でなければ出來ぬ相談らし

なほ今後移入高は前年同期に比し百萬石以上も減少せる狀態であるから、鮮米として此邊で落ち着くのは當然である、併し一方內地米を見ると、鮮米の移出高が多い丈けに內地米が喰延されて居る勘定であり、それに今月米ともなれば蓬米が續々押し寄せて來る筈があるので、此邊直るにも直れない米價のもとにある從つて高値は內地米安に伸力を制せられ、安値は鮮米安に支へられ當分何れにも米自體として大きな變動を望み難く、只仕手關係と人氣の作用に依つて時々小波瀾を繰返すのに過ぎぬであらうと觀測せる向もある

雨量少く賣方は警戒す

阪地の市場では買方主力が賣方に泣ぎを入れる者もあり、自から場合で投げ退くなど全く總退却と云ふ狀態であるがそれを物ともせず三木一派が盛んに買煽りつゝある

期米 仁川海岸町 マ 電話一六〇三七 孤淵取引店

のは同手口が早耳物として近く公表される七月一日現在の殘存米を一般の豫想より少ないと云ふ噂する者もあり、天侯の雨量不足と相俟つて强い買方は何れも警戒を怠らない情勢である

取組案外多し

先月の取組を見ると表面は未だ二萬石餘りに過ぎないが各取引員の帳で相殺になつて居る玉を加算すると人氣が强氣見越しに買迷つて居る丈け意外の大取組となる模樣である。而して地場は何れも下げ賛成に傾き此の勝負が結局何れに決するか見物だと云はれてゐる

仁川各店倭合

(單位百石)

當限賣方	⑦一五⑩一⑬三七
同 買方	⊕一〇田三⑤三二⑬八
中限賣方	⊕九田八六⊗二⊕一四
同 買方	⑦五三⊗一七⑬三九
先限賣方	⊕三二田丁五九⑦四〇
同 買方	⑦七三⑩八七⑦五七

京城穀物組合建値

▲ミートン 臺地摺二十二圓二十錢高城摺二十一圓關賀米二十一圓四十錢▲粟 海城十一圓九十錢選別十一圓七十錢鐵嶺十一圓八十錢四平街十一圓三十錢北滿(特)十一圓九十錢▲大麥上八圓九十錢並六圓九十錢▲小麥沙里院十七圓烏致院十六圓五十錢▲豌豆(赤)廿七圓二十錢▲小豆龍山物二十一圓八十錢▲碎白米一等碎白十九圓四十錢鮮碎白十五圓四十錢

仁川正米

⊕田三等二十六圓三十錢四等二十六圓⊕四等二十五圓二十八錢⊗四等二十四圓七十錢籾上物七錢六厘在來籾七錢四厘一等白米丸仁印二十八圓十錢精米組合一等白二十八圓七十錢

大豆

龍山十九圓五十錢長湍十八圓五十錢水原十八圓二十錢平澤天安十六圓七十錢海州十六圓五十錢所の唱であるが、何れる品薄と買注文薄に取引は閑散であつた

東京深川在米

東京深川在米十四日現在高は三十二萬七千百四十二俵と前日の在米高に比較して二千八百四俵の減少である

大阪市中在米高

大阪市中在米高は十四日現在百三十八萬五千七百二十七俵と前日の在米高に比較して二千六百五十俵の減少である

仁川穀物出入(十四日)

到着		
同(船)	玄米	九七五俵
	白米	三二一俵
	大豆	一、二五九叺
積出		
穀移出	白米	三、三七九叺
	同二斗入	三、八七六袋
	玄米	一、三三六叺
	大豆	一、五七九叺

大阪中外棉唱へ

			前日比較
ストリクトミドリング	七八月積	七三〇〇	100安
ブローチ	同	五五〇〇	50安
ベンゴール	同	四八〇〇	50安

各地の天氣

十四日午前

東京	曇	木浦	曇
大阪	曇	釜山	曇
神戶	晴	大邱	曇
下關	晴	群山	曇
福岡	晴	元山	晴
龍岩浦	雨	城津	曇
仁川	曇	雄基	曇
京城	曇		

株式(十四日)

京取短期

銘柄		寄付	大引	高値	安値
京取	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
久原	前	:	:	:	:
	後	:	:	:	:
東新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁取	前	:	:	:	:
	後	:	:	:	:
同新	前	:	:	:	:
	後	:	:	:	:
安取	前	:	:	:	:
	後	:	:	:	:
朝紡	前	:	:	:	:
	後	:	:	:	:
三信新	前	:	:	:	:
鮮紡新	後	:	:	:	:

算定と日步

	算定	日步	代引
京取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鮮紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
久原	[illegible]	[illegible]	[illegible]
▲以上二日分日步			

短期 賣買高: 當日 一、三〇〇枚 累計 [illegible]; 長期 [illegible]枚 累計 一、〇五〇枚

短期建玉表

	賣方	買方	建玉數
京取	四	一〇	二、八八〇
大新	四	一〇	一、九五〇
鐘新	三	四	一〇〇
東新	五	九	二、〇〇〇
仁新	二	二	八〇
安取	一	三	三〇

大株長期

銘柄		寄付	大引	高値	安値
大新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
久原	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大株短期

銘柄	前寄	前引	後寄	大引
大株	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
久原	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同鋼	:	:	:	:
郵船	[illegible]	[illegible]	:	:
同新	:	:	:	:
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日糖	:	[illegible]	:	[illegible]

東株短期市場

	寄付	大引	高値	安値
東新 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京現株

銘柄	前引
東京鐘紡	[illegible]
同新	[illegible]
東拓	[illegible]
同新	[illegible]
富士紡	[illegible]
日石	[illegible]
滿毛	:

安東株式 日本日

	前寄	大引	後寄	前引
安取	:	:	:	[illegible]

期米(十四日)

▲仁川

前場	當限	中限	先限
(一)	:	:	[illegible]
(二)	:	[illegible]	[illegible]
(三)	:	[illegible]	[illegible]
(四)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(五)	:	[illegible]	[illegible]
(六)	:	[illegible]	[illegible]
(七)	:	[illegible]	[illegible]
(八)	:	[illegible]	[illegible]
(九)	:	[illegible]	[illegible]
(十)	:	[illegible]	[illegible]

後場	當中	中限	先限
(一)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(二)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(三)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(四)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(五)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(六)	:	[illegible]	[illegible]
(七)	:	[illegible]	[illegible]

◎東京 前場(先) (一)〜(七) [illegible]; 後場 (一)〜(七) [illegible]

帳入値段 當限 [illegible] 中限 [illegible] 先限 [illegible]

取組高(石) [illegible] 累計 [illegible]

出來高 [illegible]

◎大阪 前場 當寄 止め 中寄 止め (一)〜(十) [illegible]; 後 當寄 止め 中寄 止め (一)〜(七) [illegible]; 引アト 三十八錢

大阪期米喰合

	賣方	買方	取組高
當限	[illegible]	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◎兵庫 先限寄付 止め 前場 [illegible] 後場 [illegible]

◎下關 先限寄付 止め 前場 [illegible] 後場 [illegible]

◎桑名 先限寄付 止め 前場 [illegible] 後場 [illegible]

鮮內延べ(十四日前場)

◎釜山(角ケ鍋良 現物 山丸米 出來高) 寄付 大引 高値 安値 [illegible]

◎大邱(現物穀良都 出來 神山 高力) 寄付 大引 高値 安値 [illegible]

◎群山(現物丸七 三等 同 出來 四等 高) 寄付 大引 高値 安値 [illegible]

◎大阪棉花 前場當限 先限 後場當限 先限 寄付 止め [illegible]

◎大阪綿絲 前場 後場 二十五センチメートル

	寄付	同引	寄付	同引
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◎横濱生絲 前場當限 先限 後場當限 先限 寄付 止め [illegible]

◎現物 最優等 [illegible]

◎鐘紡 日本日 前寄 大引 後寄 大引 當限 先限 [illegible]

大阪砂糖前後場 當限 先限 前 後 寄付 大引 [illegible]

京城手形交換高(十四日) 枚數 一、四四二枚 金額 一、九三〇、三二三圓

市中米標準値

丸キ四等玄米	二五圓九〇
白米卸値(百キロ)	二二圓五〇
仁川一等白米	二八圓一〇

薩摩義士傳(116)

中村兵衛作
神保朋世畫

風呂の縛ひ

大谷の元小屋へ、晩秋の夕べをさびしく戾つて來た平田靱負は、つかれ切つた身を、何物にも慰むるに由もなかつた。

下郞の岩七は、わら家の軒に出迎へて頭を下げた。

『旦那樣、お歸りでござりました。鬼塚殿や山元殿がお歸りなさされましたに旦那樣のお姿が見えませんので、お案じ申してをりました』

靱負はつかれや惱みを、家來に見せて氣をもませまいと、わざと元氣よく。

『オゝ左樣であつだの、油島の仕置りを手傳ひ、それより逆川の見廻りして參つたので、聊か遲刻致

『ア、左樣でござりますか、追々お寒くなりますので、どちらのお小屋でも、た〻今までのやうに、野風呂で風を引ます。今朝拙者も申してをりましたので、元小屋のお風呂も、臺所の隅へ入れやうと…』

『イヤ〳〵、拙者のは構はぬ。家主の鬼頭兵內殿一家が浴みを濟ませて後、その方等が貰ひ受くるゆゑそれでよろしい。身共は三日四日入浴せんとても、決して厭ふ所ではない』

岩七は思はずホロリとなつて、面を伏せながら

『アゝ一世ならば、千石取りの旦那樣、立派なお邸のお風呂場で、每日お肩やお背中を流させて悠々御入湯遊ばすものを、焚き物の都合で三日も四日もお風呂を召され ぬ事がある……何といふおいとしい事である』

『アッハヽヽ、岩七そつちは若い に似合はぬ愚痴な奴ぢやな。何も この川普請を一生致すのではない、最早各組割も定めの通り段々と仕上がりをれば、遲くも來年の春はその方等と笑ひ語して主命通り工事落成と、大手をふつて國元歸へ 歸れるではないか、聊かの間のその日暮しに、不自由をかこつ時は、拙者へ對して申譯がなからう。身共はな郷つて出來ぬ田舍家の朝夕に不自由どころか舊時な御城中より諸命が伸びたと思ふ。まづ人間は考へやうぢや、なア左樣ではないか、アッハヽヽ』

笑ひにまぎらせて、靱負は苦衷な生活に、何の不平も洩らさなかつた。

その意中を知る岩七は、破れた袖に淚を拭つて、主人を奧へ送り込む。そして臺所へ飯炊に廻るそこへ若黨良左衛門が歸つて來た。

『良左衛門は出張り小屋の風呂桶を縛ひに參はした』

『へい、それはマア結構でござりましたな、皆樣のお骨折りで追々御普請も捗り斯様な喜ばしい事はござりませぬ、これと申すも勿體なすつたり御病死なされたりなすつた御家中のお方の、血なり骨なり肉なりで、あの土手をかためたもの、おいたましい事でござりますな』

『オゝそちらの申す如くぢや、又我が島津の藩士のみではない、この三大河の川普請には、その蔭に見えぬ力がこもつて居る。彼の美濃衆の家臣にして、內藤十左衛門殿の如き腹迄くは長良川に身を投じて人柱となつたる、井關伊兵衛殿等これ等のお人の靈魂が、石となり柵となつて、工事落成さして下さるのである』

『へい〳〵これも又おいたましい事でございます、それはさうと旦那樣今朝は良左衛門がお供致して參りませぬが、どうか致しましたかな』

したのぢや。岩七喜んでくりやれもはや如何なる大雨があらうとも如何に出水が急なりとも、逆川油島は大丈夫であるぞ』

『へイ、それはマア結構でござりましたな、皆樣のお骨折りで追々』